

本資料は、投資家/ビジネスパートナーの皆様からのご要望に応えるため、アストラゼネカ英国本社（AstraZeneca PLC）が 2025 年 7 月 29 日に発表した、[2025 年上半期および第 2 四半期業績](#)の一部を日本語に翻訳し、参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。本リリースには、本邦未承認および国内と異なる適応の情報を複数含みます。

AstraZeneca

2025 年 7 月 29 日

2025 年上半期および第 2 四半期業績

～年初来の好調な研究開発パイプラインの実現により、

成長に向けた強い推進力が持続～

収益および EPS の概要

	2025 年 上半期	増減 (%)		2025 年 第 2 四半期	増減 (%)	
	100 万ドル	実績	CER ¹	100 万ドル	実績	CER
-製品売上	26,670	8	10	13,795	11	10
-アライアンス収益	1,293	38	38	654	36	35
製品収益 ²	27,963	9	11	14,449	12	11
協業収益	82	68	66	8	>2x	>2x
売上収益	28,045	9	11	14,457	12	11
報告ベース EPS (ドル)	3.46	31	32	1.58	27	31
コア ³ EPS (ドル)	4.66	16	17	2.17	10	12

2025 年上半期の主な業績（伸び率は恒常為替レートベース）

- * オンコロジーおよびバイオ医薬品の 2 桁成長を受けて、売上収益は 11%増の 280 億 4,500 万ドル
- * すべての主要地域で売上収益が成長
- * コア営業利益は 13%増
- * コア EPS は 17%増の 4.66 ドル
- * 主要地域で 12 件の良好な第 III 相臨床試験結果および 19 件の承認
- * 中間配当は 3%増となる 1.03 ドル（76.7 ペンス、9.81 スウェーデン・クローナ（SEK））

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「当社の収益成長の強い推進力は本年上半期も持続し、当社の広範かつ多様なパイプラインはきわめて順調に実現しています。まさにここ数週間においても、バクストロスタット、ゲフルリマブおよびタグリッソをはじめ、12 件の主要な第 III 相臨床試験から良好な結果が得られました。

次の成長フェーズへ進むにあたり、当社は米国で引き続き成長するために 500 億ドルの投資を約束しました。これには、バージニアで予定されている、アストラゼネカとして過去最大の製造投資を含みます。画期的な今回の投資は、米国の重要性だけでなく、グローバルヘルスを変革するとともに 2030 年までに売上収

益 800 億ドル達成というアストラゼネカの意欲目標を後押しする当社の革新的な医薬品への自信の表れです」。

ガイダンス

2024 年通年の平均為替レートに基づく CER ベースで、2025 年通年の売上収益およびコア EPS に関するガイダンス⁴を再掲します。

売上収益は、1 桁台後半の増加を見込む

コア EPS は、2 桁台前半の増加を見込む

コア税率は 18～22%を想定

仮に 2025 年 7 月から 2025 年 12 月までの為替レートが 2025 年 6 月の平均レートを維持した場合、2025 年通年の売上収益の増加およびコア EPS の増加は CER ベースの増加とおおむね同程度であると予想されます（従来の予想は 1 桁台前半のマイナス影響）。

業績のハイライト

Table 1：前回の業績発表以降に達成したマイルストーン

第 III 相およびその他の登録データの臨床試験結果

医薬品	臨床試験	適応症	イベント
エンハーツ	DESTINY-Breast11	高リスク HER2+早期乳がん（術前補助療法）	主要評価項目達成
イミフィンジ	POTOMAC	高リスク筋層非浸潤性膀胱がん	主要評価項目達成
タグリッソ	FLAURA2	1L EGFRm NSCLC	副次評価項目（OS）達成
バクストロスタット	BaxHTN	コントロール不良または治療抵抗性の高血圧	主要評価項目達成
ビレーズトリ	KALOS/LOGOS	コントロール不良の喘息	主要評価項目達成
ファセンラ	NATRON	HES	主要評価項目達成
サフネロー	AZALEA	SLE（中国）	主要評価項目達成
アンセラミマブ	CARES（301/2）	軽鎖アミロイドーシス	主要評価項目未達成
ゲフルリマブ	PREVAIL	全身性重症筋無力症	主要評価項目達成

薬事承認

医薬品	臨床試験	適応症	地域
カルケンス	ECHO	1L MCL	欧州
カルケンス	ACE-LY-004	再発／難治性 MCL	欧州
カルケンス	AMPLIFY	1L CLL（固定期間併用療法）	欧州
ダトロウェイ	TROPION-Lung05/TROPION-Lung01	2L+ EGFRm NSCLC	米国
イミフィンジ	ADRIATIC	限局型 SCLC	中国
イミフィンジ	NIAGARA	MIBC	欧州
タグリッソ	LAURA	局所進行／切除不能 EGFRm NSCLC	日本
Orpathys+タグリッソ	SACHI	局所進行／転移性 2L+ EGFRm MET+ NSCLC	中国

主要地域における薬事承認申請または受理*

医薬品	臨床試験	適応症	地域
カルケンス	AMPLIFY	1L CLL（固定期間併用療法）	米国
エンハーツ	DESTINY-PanTumor02	2L+切除不能／転移性 HER2+固形がん	日本
エンハーツ	DESTINY-Gastric04	2L HER2+胃がん	中国、日本
イミフィンジ	MATTERHORN	切除可能早期胃がんおよび食道胃接合部がん	米国
カミゼストラント	SERENA-6	ESR1m HR+ HER2- aBC	米国、欧州、日本

*米国、欧州および中国の薬事承認申請は申請受理を意味します。

その他パイプラインの最新情報

最近の臨床試験開始および主要な臨床試験結果の予想時期については、臨床試験付録（Clinical Trials Appendix）（www.astrazeneca.com/investor-relations.html）をご覧ください。

Table 2 : 2025 年第 2 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

6 月 30 日に終了した四半期	報告ベース	増減 (%)		コア	増減 (%)		
	100 万ドル	実績	CER	100 万ドル	実績	CER	
製品収益	14,449	12	11	14,449	12	11	* 医薬品の製品収益、製品売上およびライセンス収益の詳細は、Table 3、23、24、および 25 を参照
協業収益	8	>2x	>2x	8	>2x	>2x	* 協業収益の詳細は Table 4 および 26 を参照
売上収益	14,457	12	11	14,457	12	11	* 治療領域別および地域別の売上収益は Table 5 および 6 を参照
粗利益率 (%)	83	-	-	82	(1pp)	-	- 提携医薬品の成長 * 為替変動、製品の季節性および協業収益等のさまざまな要因により、期間による粗利益率の変動を予想 * 粗利益率 ⁵ の定義は、以下の「報告上の変更点」を参照
研究開発費	3,548	18	16	3,453	20	18	* コア研究開発費：売上収益の 24% + 実施中の第 III 相臨床試験における人材採用の加速 + 細胞療法や放射性コンジュゲート等の革新的な技術への投資 + 価値の高いパイプラインに関する良好な臨床試験結果に伴う後期臨床試験の開始 + BD 関連研究開発の追加
販売費・一般管理費 (SG&A)	4,864	(1)	(2)	3,802	2	1	* コア SG&A：売上収益の 26%
その他営業収入 (および費用) ⁶	79	30	33	71	19	23	
営業利益	3,508	28	32	4,584	12	14	
営業利益率 (%)	24	3pp	4pp	32	-	1pp	
純金融費用	371	8	10	303	6	9	+ より高い金利での 2024 年の債務
税率 (%)	22	2pp	2pp	21	2pp	2pp	* 期間による税率の変動を予想
EPS (ドル)	1.58	27	31	2.17	10	12	

金額の増減の単位はパーセント、粗利益率、営業利益率および税率の増減の単位はパーセンテージポイントです。

上記の費用におけるコメントにおいて、プラスとマイナスの記号は、記載されている項目の影響の方向性を示します。例えば、研究開発費のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年同期に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。

コーポレートおよび事業開発

CSPC 社

2025 年 6 月、アストラゼネカは、石家荘市（中国）に本拠を置く CSPC Pharmaceuticals Group Limited と、戦略的研究提携を締結しました。本提携により、免疫疾患に対する前臨床段階の低分子経口治療薬等、慢性疾患の適応症に対して治療の可能性を持つ、複数の標的に対する前臨床

段階の薬剤候補の探索と開発を行います。CSPC 社の研究では、同社の AI を搭載したデュアルエンジンの高効率創薬プラットフォームを活用します。

CSPC 社は 1 億 1,000 万ドルの一時金を受け取るとともに（うち 6,000 万ドルを無形資産として資産計上済み）、開発マイルストーンに応じて最大 16 億 2,000 万ドルおよび販売マイルストーンに応じて最大 36 億ドルを受け取る権利があり、さらには製品の年間純売上高に基づき 1 桁台のロイヤリティを受け取る可能性があります。

アストラゼネカは、本契約で特定された候補化合物を世界中で開発・商業化する独占的ライセンスについて、オプション権を行使する権利を有します。

EsoBiotec 社

2025 年 5 月、アストラゼネカは、生体内細胞療法の先駆けであり有望な早期臨床活性を実現したバイオテクノロジー企業、EsoBiotec 社の買収を完了しました。EsoBiotec 社の Engineered NanoBody Lentiviral (ENaBL) プラットフォームは、高度に標的を絞ったレンチウイルスを用いて、特定の免疫細胞に遺伝的指令を送達するもので、オンコロジー領域や免疫介在性疾患で使用される可能性があります。

アストラゼネカは、EsoBiotec 社のすべての発行済株式を、現金および負債のない状態で、総額最大 10 億ドルで取得しました。これは、4 億 300 万ドルの初回金と、開発および規制上のマイルストーンに基づく最大 5 億 7,500 万ドルの条件付き対価を含みます。

米国での投資計画

2025 年 7 月、アストラゼネカは、2030 年までに米国での製造および研究開発に 500 億ドルを投資する計画を発表しました。

画期的な今回の投資の中心となるのは、経口 GLP-1 受容体作動薬、バクストロスタット、経口 PCSK9 阻害剤、低分子配合剤等、当社の革新的な体重管理および代謝関連ポートフォリオの原薬を製造する、米国の新たな数十億ドル規模の製造施設です。

当原薬の施設は、バージニア州に設立予定で、アストラゼネカにとって世界最大規模の単独での製造投資となります。当施設では AI、自動化およびデータ分析を活用し、生産を最適化します。

サステナビリティのハイライト

アストラゼネカは、当社のサステナビリティ・インパクトおよび事業方針に焦点を当てた最新の[サステナビリティ戦略](#)を導入しました。この戦略の進化において、事業の成長と現代の主な健康課題対策のニーズとの関連性を認識し、人々、社会、地球の健康の支援を目指します。

報告カレンダー

当社は、2025 年 11 月 6 日に 2025 年 9 カ月通期および第 3 四半期業績を発表する予定です。

2024 年以降の報告上の変更点

製品収益

2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは包括利益計算書上における売上収益の表示方法を更新し、製品売上とアライアンス収益の合計を示す新たな小計として「製品収益」を盛り込みました。

製品収益と協業収益によって売上収益を構成します。

製品売上およびアライアンス収益は引き続き分けて表示しますが、アライアンス収益の重要性が増していることから、新たな小計により、同様の特性を有する収益タイプの集計を追加して表示します。

製品売上、アライアンス収益および協業収益の詳細は、当社グループの[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2024](#) の 152 ページに記載されています。

粗利益率

2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは「製品売上総利益率」の指標を「粗利益率」の指標に置き換えました。従来の指標では、アライアンス収益および協業収益に関連する利益が除外されていました。新しい指標は、売上収益に占める粗利益の割合を用いて算出することで、すべての収益カテゴリーを包含します。これは、業績全体のより包括的な指標を示すことを意図しています。

収益要因

Table 3 : 医薬品別製品収益

	2025 年 上半期		増減 (%)		2025 年 第 2 四半期		増減 (%)	
	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER
タグリッソ	3,488	12	9	10	1,810	13	13	12
イミフィンジ	2,716	10	20	21	1,455	10	27	26
カルケンス	1,634	6	8	9	872	6	10	10
リムパーザ	1,564	6	8	9	838	6	13	11
エンハーツ	1,262	5	35	38	666	5	41	42
ゾラテックス	587	2	4	6	294	2	4	5
トルカブ	302	1	>2x	>2x	170	1	84	84
イジユド	170	1	25	25	89	1	20	18
ダトロウェイ	14	-	n/m	n/m	11	-	n/m	n/m
その他のオンコロジー製品	217	1	(10)	(8)	107	1	(12)	(13)
オンコロジー製品収益	11,954	43	15	16	6,312	44	18	18
フォシーガ	4,209	15	11	13	2,151	15	11	10
クレストール	636	2	8	10	320	2	9	9
プリリント	520	2	(22)	(21)	215	1	(37)	(38)
ロケルマ	328	1	31	32	175	1	29	27
セロケン	309	1	(2)	2	148	1	(2)	1
ロキサデュスタット	152	1	(9)	(8)	73	1	(18)	(18)
Wainua	84	-	>4x	>4x	44	-	>2x	>2x
その他の CVRM 製品	274	1	(27)	(26)	138	1	(27)	(28)
CVRM 製品収益	6,512	23	6	7	3,264	23	3	3
シムピコート	1,438	5	(4)	(2)	715	5	(1)	(1)
ファセンラ	920	3	18	18	502	3	19	18
ビレーズトリ	583	2	28	29	283	2	21	20
テゼスパイア	483	2	73	73	267	2	66	65

	2025 年 上半期		増減 (%)		2025 年 第 2 四半期		増減 (%)	
	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER
パルミコート	264	1	(30)	(28)	106	1	(32)	(32)
サフネロー	304	1	49	49	167	1	49	48
Airsupra	70	-	>3x	>3x	42	-	>2x	>2x
その他の R&I 製品	172	1	(5)	(5)	68	-	(19)	(20)
R&I 製品収益	4,234	15	12	13	2,150	15	13	12
バイフォータス	238	1	>2x	>2x	126	1	>3x	>3x
シナジス	162	1	(36)	(33)	49	-	(39)	(37)
フルミスト	10	-	20	16	10	-	>5x	>5x
その他の V&I 製品	1	-	(91)	(91)	-	-	(78)	(78)
V&I 製品収益	411	1	17	18	185	1	56	54
ユルトミリス	2,228	8	23	24	1,177	8	25	23
ソリス	974	3	(32)	(30)	530	4	(24)	(22)
ストレンジック	746	3	14	15	395	3	16	15
コセルゴ	275	1	11	13	137	1	20	18
その他の希少疾患	113	-	12	14	55	-	16	14
希少疾患製品収益	4,336	16	2	3	2,294	16	7	7
ネキシウム	434	2	(8)	(5)	201	1	(11)	(11)
その他	82	-	(20)	(20)	43	-	(12)	(13)
その他医薬品製品収益	516	2	(10)	(8)	244	2	(11)	(11)
製品収益	27,963	100	9	11	14,449	100	12	11
上記に含まれるアライアンス収益：								
エンハーツ	834	3	22	24	436	3	27	27
テゼスパイア	285	1	58	58	155	1	50	50
バイフォータス	109	-	>4x	>3x	27	-	>4x	>3x
ダトロウェイ	14	-	n/m	n/m	10	-	n/m	n/m
その他のアライアンス収益	51	-	4	2	26	-	(11)	(11)
アライアンス収益	1,293	5	38	38	654	5	36	35

Table 4 : 協業収益

	2025 年 上半期 100 万 ドル	増減 (%)		2025 年 第 2 四半 期 100 万 ドル	増減 (%)	
		実績	CER		実績	CER
フォシーガ：販売マイルストーン	77	57	56	3	(36)	(38)
その他	5	n/m	n/m	5	n/m	n/m
協業収益	82	68	66	8	>2x	>2x

Table 5 : 治療領域別売上収益

	2025 年 上半期	対合計 (%)	増減 (%)		2025 年 第 2 四半 期	対合計 (%)	増減 (%)	
	100 万 ドル		実績	CER	100 万 ドル		実績	CER
オンコロジー	11,955	43	15	16	6,312	44	18	18
CVRM	6,588	23	6	8	3,266	23	3	3
R&I	4,234	15	12	13	2,150	15	13	12
V&I	411	1	17	18	185	1	56	54
バイオ医薬品	11,232	40	8	10	5,601	39	8	7
希少疾患	4,336	15	2	3	2,294	16	7	7
その他医薬品	522	2	(9)	(7)	250	2	(9)	(9)
合計	28,045	100	9	11	14,457	100	12	11

Table 6 : 地域別売上収益

	2025 年 上半期	対合計 (%)	増減 (%)		2025 年 第 2 四半 期	対合計 (%)	増減 (%)	
	100 万 ドル		実績	CER	100 万 ドル		実績	CER
米国	11,970	43	12	12	6,323	44	13	14
中国以外の新興国市場	4,182	15	12	19	2,043	14	16	21
中国	3,515	13	4	5	1,710	12	5	5
新興国市場	7,697	27	8	12	3,754	26	11	13
欧州	5,825	21	9	8	3,066	21	12	8
その他既成市場	2,554	9	5	5	1,315	9	5	2
合計	28,045	100	9	11	14,457	100	12	11

営業および財務の概況

報告通貨

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、100 万米ドル（\$m）単位で記載されています。

報告期間

別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2025 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「2025 年上半期」）を対象とし、2024 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「2024 年上半期」）と比較しています。また、2025 年 6 月 30 日までの 3 カ月間（「当四半期」または「2025 年第 2 四半期」）を対象とし、2024 年 6 月 30 日までの 3 カ月間（「2024 年第 2 四半期」）と比較しています。

コア財務指標

コア財務指標である EBITDA、純負債、粗利益率、営業利益率および CER は、当社グループの要約連結中間財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。

経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより深くご理解いただくための有益な補足情報を提供するものと考えています。

これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優先されるものでもありません。

コア財務指標（続き）

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- グローバルでの組織改編に関連する費用および引当金（資産化された製造資産および IT 資産に及ぼす構造改革プログラムの影響に関連する費用を含む）
- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- その他の特定項目（主に買収関連の費用および債務から成り、企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、アレクシオン社買収および法的和解によって生じた特定のその他の支払債務および負債項目に関連する再測定調整を含む）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2024](#) の 70 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

定義

粗利益率は、売上収益に占める粗利益の割合と定義されています。

EBITDA は、報告ベースの税引前利益に合併会社および関連会社から生じた純金融費用ならびに減価償却費、無形資産償却費および減損費用を加算した値と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の中間財務諸表の注記 3「純負債」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

財務実績

Table 9 : 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2025 年上半期

6 月 30 日に終了した半期	報告ベース	組織改編	無形資産の 償却および 減損	その他	コア	増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
総利益	23,331	(70)	17	1	23,279	9	10
- 粗利益率	83%				83%	-	-
流通費用	(278)	-	-	-	(278)	4	6
研究開発費	(6,707)	101	62	3	(6,541)	17	17
- 売上収益に占める研究 開発費の割合	24%				23%	-2pp	-1pp
販売費・一般管理費	(9,356)	76	1,943	78	(7,259)	2	3
- 売上収益に占める販売 費・一般管理費の割合	33%				26%	+2pp	+2pp
総事業費	(16,341)	177	2,005	81	(14,078)	8	9
その他営業収入・費用	192	(6)	-	-	186	50	51
営業利益	7,182	101	2,022	82	9,387	12	13
- 営業利益率	26%				33%	+1pp	+1pp
純金融費用	(636)	-	-	118	(518)	(3)	(1)
税金	(1,160)	(30)	(386)	(49)	(1,625)	1	2
EPS	\$3.46	\$0.05	\$1.06	\$0.09	\$4.66	16	17

Table 10 : 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2025 年第 2 四半期

6 月 30 日に終了した四半 期	報告ベース	組織改編	無形資産の 償却および 減損	その他	コア	増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
総利益	11,984	(78)	9	(1)	11,914	11	11
- 粗利益率	83%				82%	-1pp	-
流通費用	(143)	(3)	-	-	(146)	10	10
研究開発費	(3,548)	41	52	2	(3,453)	20	18
- 売上収益に占める研究 開発費の割合	25%				24%	-2pp	-1pp
販売費・一般管理費	(4,864)	26	986	50	(3,802)	2	1
- 売上収益に占める販売 費・一般管理費の割合	34%				26%	+3pp	+3pp
総事業費	(8,555)	64	1,038	52	(7,401)	10	9
その他営業収入・費用	79	(7)	-	(1)	71	19	23
営業利益	3,508	(21)	1,047	50	4,584	12	14
- 営業利益率	24%				32%	-	1pp
純金融費用	(371)	-	-	68	(303)	6	9
税金	(679)	(2)	(199)	(31)	(911)	23	26
EPS	\$1.58	\$(0.01)	\$0.55	\$0.05	\$2.17	10	12

利益および損益要因

売上総利益

2025 年上半期の粗利益率（報告ベースおよびコア）は、以下の結果として安定的でした。

- 地域ミックスによるポジティブな影響
- プロダクトミックスによるマイナスの影響：アストラゼネカは特定の市場において製品売上を計上し、提携パートナーに売上総利益の一部を支払うことから、利益分配契約を交わしている製品（リムパーザ、

エンハーツ、テゼスパイア、コセルゴ)の売上の貢献度が増加すると、粗利益率にマイナスの影響。パートナーに支払われる利益分配は、アストラゼネカの売上原価の行に計上

- 価格調整（米国のメディケア・パート D プログラムによって返還される売上に対する等）のため、粗利益率が希薄化

製品の季節性、為替変動、その他の影響により、期中における粗利益率の業績の変動が引き続き予想されます。

研究開発費

当期の研究開発費（報告ベースおよびコア）の変動には、以下が影響しています。

- 価値の高いパイプラインに関する良好な臨床試験結果に伴う後期臨床試験の開始
- 研究開発の能力向上を図るためのプラットフォーム、新技術、能力への投資
- 過去に発表された事業開発活動の完了後における研究開発プロジェクトの追加

販売費・一般管理費

- 当期の販売費および一般管理費（報告ベースおよびコア）の変動は、主に製品上市に向けた、および既存ブランドの成長持続支援のための市場開発活動によるものです。

その他営業収入（および費用）

- 2025 年上半期のその他営業収入の内訳は、主にロイヤリティおよび売却の前払金です。

純金融費用

2025 年上半期のコア純金融費用は、第 1 四半期において過去の期に関連する税金負債の減少が認められたため、主に税金に対する利息の調整により 3%（CER ベースで 1%）減少しました。

2025 年第 2 四半期のコア純金融費用は、主に短期預金の減少により 6%（CER ベースで 9%）増加しました。

税金

2025 年 6 月 30 日までの 6 カ月間における報告ベースおよびコアの実効税率は 18%（2024 年上半期：それぞれ 21%および 20%）でした。

これらの税率は、2025 年第 1 四半期に税務当局との決済後に前期の税金負債見積額を更新したことから、税金負債の減少による恩恵を受けました。

2025 年 6 月 30 日までの 6 カ月間に現金で支払った税額は、15 億 4,900 万ドル（2024 年上半期：13 億 3,700 万ドル）で、報告ベース税引前利益の 24%（2024 年上半期：26%）に相当します。

配当金

2025 年上半期の業績とともに公表した中間配当は、3%増の 1.03 ドルでした。

注記

- ¹ 恒常為替レート（Constant exchange rates, CER）。実績増減と CER 増減の差は、2025 年対 2024 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に基づく会計処理によるものではありません。
- ² 2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは売上収益の表示方法を更新し、製品売上とアライアンス収益の合計である新たな小計として製品収益を追加しました。詳細は、中間財務諸表の注記 1「作成基準および会計方針」をご参照ください。
- ³ コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主に、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 9 に記載されています。
- ⁴ 当社は、買収関連負債から生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を確実に予測することはできないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。
- ⁵ 2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは粗利益率の表示方法を更新しました。詳細は、中間財務諸表の注記 1「作成基準および会計方針」をご参照ください。
- ⁶ グループが大幅かつ継続的な経済的利益を保持していない資産および事業の処分による収入は、グループの財務諸表において「その他営業収入（および費用）」に計上されます。